

日本写真映像専門学校 写真コミュニケーション学科

学校関係者評価表

1. 学校の教育目標

本校は1956年の設立以来60年以上にわたり、写真・映画・テレビ・舞台・演劇等各業界で活躍できる人材の育成を続け1万人を超える卒業生を輩出してきた。

日本国内のみならず世界でも活躍する卒業生も多数輩出している。

いまやスマートフォン1台あれば写真撮影や動画撮影など何でもできる時代となったが、本校は時代のニーズに対応したプログラムを用意し、学生と教員の距離感の近いアットホームな教育が特徴である。

卒業後社会で活躍することはもちろんのこと、いつでも遊びに来ることができる、そんな雰囲気づくりを日々続けている。

蓄積されたノウハウ、卒業生の活躍により、業界からの信頼を獲得している

授業は実習が70%以上。座学で学んだことを実践し、知識と技術をしっかりと身に付けるカリキュラム構成になっている。就職に繋がるコンテストへの応募も積極的に行い、多くの受賞実績を誇る。

写真業界で必要とされ、活躍し続けることができる知識と経験を持つ人材を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

コロナ禍によって鈍化していた経済もようやく上向きつつある中で、有効求人倍率も緩やかではあるが回復傾向にある。本校においては、就職を希望する学生に対し、就職率を下げない様に取り組んでいく。その施策として、キャリアマップというサイトを活用し、企業と就活生のマッチングを高め就職率の増加を目指す。

また、退学者を減らすための対策としてスクールカウンセラーの導入も進めているところである。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

入学直後に行われるガイダンスにて、学生便覧を元に理念や目的などを説明している。保護者には同じ学生便覧を見て理解してもらう様にしている。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1

・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
・理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題
特に無し

② 今後の改善方策
特に無し

③ 特記事項
特に無し

(2) 学校運営

基本的な運営方針に沿った運営計画書が作成され理事会で承認を得た後、教職員に周知徹底している。また、理事会の記事録が全教職員に公開されており、理事側から補足説明が行われている。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題
特に無し

② 今後の改善方策
特に無し

③ 特記事項
特に無し

(3) 教育活動

学校の教育理念に沿った教育実施計画書を策定し、教育課程を編成している。関連分野が主催する各種セミナーなどに参加し業界のトレンドを把握しカリキュラム編成に生かす様に心掛けている。また、職員自らが業界にまつわる関連資格取得を行い、学生の指導に生かすようにしている。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修年年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等と連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質行動のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

① 課題
特に無し

② 今後の改善方策
特に無し

③ 特記事項
特に無し

(4) 学修成果

就職にまつわるガイダンスを早期より行い、学生の就活に対する心構えを養うように指導を行っている。また、教員が業界団体の主催する各種セミナーやイベントなどに顔を出すようにし、求人話などをタイムリーに働きかけている。現在、キャリアマップという企業・就活生を結びつけるサイトをテスト運用している。これにより学生が好きな時に求人情報を得られるため夏休みなどの長期休暇中などに効果が期待できる。

退学率については、担任が日々カウンセリングなどを行い学生のモチベーション向上に努めている。また現在、スクールカウンセラーの導入を検討しておりこれによって担任の業務負担を軽減する狙いもある。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上がはかられているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・卒業生。在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

① 課題
特に無し

② 今後の改善方策
特に無し

③ 特記事項
特に無し

(5) 学生支援

就職に関する取り組みとしては、先述の通りキャリアマップをテスト運用中であるのでこれにより学生がタイムリーな情報を得れるようになる。

また、就職相談においても担任が日々カウンセリングを行い希望する分野や職種などを把握し、見合った就職先を案内できるようにしている。

学生支援体制については、各種奨学金などを案内できるようにしている。

健康面においては、毎年4月に健康診断を行い学生保険にも加入しているので万が一の事故や怪我などにも対応できるようにしている。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

① 課題
奨学金を受給している学生が増加している

② 今後の改善方策
給付型奨学金の認定を受けられるよう尽力する

- ③ 特記事項
特に無し

(6) 教育環境

十分とは言えないが対応できるよう整備されている。
消防設備も法律に基づき定期点検を実施している。
AED も設置しており取扱いについて講習を実施している。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実施設、インターンシップ、海外研修棟について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

- ① 課題
特に無し

- ② 今後の改善方策
特に無し

- ③ 特記事項
特に無し

(7) 学生の受入れ募集

広報部が中心に企画・運営し進路相談会や会場説明会および高校訪問を実施している。また、体験型ガイダンスの場合は教員が直接出向いて指導を行っている。学校納入金（入学金・授業料・維持費・施設費・実習費）の見直しを行い令和7年度生より改定を行う。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学生納付金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

- ① 課題
年々入学者数が減少している

- ② 今後の改善方策
オープンキャンパスの回数を増やし、SNS 等で発信することで参加者増に努める

- ③ 特記事項

特に無し

(8) 財務

本校は財務基盤の充実をと強化・安定に重点を置いている。
施設には不足はなく教育設備は定期的に入れ替えを行っている。
経費支出については施設設備や光熱費の高騰人件費の増加する要因はあるが合理的な支出を心掛けている。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 (3) 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	(4) 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 (2) 1

① 課題

入学者の減少に伴い収入も減少する中でいかに収支を安定させるかが課題である

② 今後の改善方策

高等教育支援制度の認定を受け、高校生が本校に進学する候補となるなど、
入学者数増となるための施策を講じる。

③ 特記事項

特に無し

(9) 法令等の遵守

本校は専修学校設置基準を厳守し適切な学校運営に努めている。
個人情報の取り扱いについては学校法人創真総合技術学園の「個人情報取り扱い」を厳守している。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	(4) 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	(4) 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	(4) 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 (1)

① 課題

特に無し

② 今後の改善方策

特に無し

③ 特記事項

特に無し

(10) 社会貢献・地域貢献

献血活動を年2回実施し日本赤十字社に協力している。

その他以下のような試験を試験会場として提供している。

■肖像写真技能検定試験実技試験会場（大阪府職業能力開発協会主催）

■フォトマスター検定試験会場（公益財団法人 国際文化カレッジ主催）

■デジタル情報記録技術者認定試験会場（デジタル情報記録管理協会主催）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
・地域に対する公開講座。教育訓練（公共職業訓練等を含む）受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1

① 課題

特に無し

② 今後の改善方策

特に無し

③ 特記事項

特に無し

日本写真映像専門学校 映像クリエイション学科

学校関係者評価表

1. 学校の教育目標

本校は1956年の設立以来70年近くにわたり、写真・映画・テレビ・舞台・演劇等各業界で活躍できる人材の育成を続けてきた。日本国内のみならず世界でも活躍する卒業生も多数輩出している。

いまやスマートフォン1台あれば写真撮影や動画撮影など何でもできる時代となったが、本校は時代のニーズに対応したプログラムを用意し、学生と教員の距離感の近いアットホームな教育が特徴である。

卒業後社会で活躍することはもちろんのこと、いつでも遊びに来ることができる、そんな雰囲気づくりを日々続けている。蓄積されたノウハウ、卒業生の活躍により、業界からの信頼を獲得している授業は実習が70%以上。座学で学んだことを実践し、知識と技術をしっかり身に付けるカリキュラム構成になっている。

映像・演劇・イベント業界で必要とされ、活躍し続けることができる知識と経験を持つ人材を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・ 就職希望者の確実な就職実現
- ・ 職業人としての教養の向上と人格を養成できるカリキュラムの更なる研究
- ・ 学生個々の人格や能力に合わせた学生支援

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・ 学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1

・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 3 ② 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

学校としての目的と、学科としての理念や育成人材像もあるが、保護者までの共有周知が徹底されておらず、年度開始時のガイダンスで説明・学生便覧を配布するにとどまっていた。

② 今後の改善方策

学校としての理念や目標を設定し、本校 HP 上に学校情報掲載ページを作成し、広く公開できるよう準備中

③ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修行年限に対応	④ 3 2 1

した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等と連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質行動のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

① 課題

これまでは授業評価を学生カウンセリングでの個別ヒアリングにて行っていたが、内容にばらつきがあった。

関連分野における先端的な知識を修得するため、業界誌の購読や展覧会への参加は積極的に行っているが、技能等の研修までは実施できていない

② 今後の改善方策

授業評価はフォームを作成し実施する予定

先端的技能等の研修は内部では限度があるので、頻繁に行っている協会など関連団体への加入を進めたい

③ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上がはかられているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・卒業生。在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

① 課題

資格取得のための試験対策講座を試験直前に固めることで合格率の向上を図ったが、台風のため試験前日の対策講座が丸一日休講となり、これまでにない低合格率（55%）となった

② 今後の改善方策

効果的に復習を行い長期記憶へのアプローチを多くした、コンスタントな授業計画に移行することで試験までの学習期間に受けるリスクを分散し、これまで当学科が誇っていた高合格率に回復させたい。

③ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

① 課題

分納・延納制度や特待生制度、国の教育ローンなど様々な経済的支援制度を組んでいるが給付型奨学金の対象校ではない

② 今後の改善方策

一年でも早く給付型奨学金の対象校認定を望む

③ 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
・学内外の実施設、インターンシップ、海外研修棟について十分な教育体制を	4	③	2	1

整備しているか	
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

スタジオが写真学科と共有のものである

② 今後の改善方策

就職してから初めて見るものばかりとならないよう、写真スタジオに仮設でシステムを組み、スタジオワークその他の習得を実施。また積極的にテレビ局などでの勉強を行い、他校の学生に遜色のない知識・技術習得を図るとともに、根強くスタジオ設置要望を続けていきたい

③ 特記事項

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学生納付金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

少子化により募集は年々苦戦を強いられている

② 今後の改善方策

本校の強みをアピールし効率の良い広報活動をする

③ 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 ② 1

① 課題

入学者の減少に伴い収入も減少する中でいかに収支を安定させるかが課題である。

② 今後の改善方策

高等教育支援制度の認定を受け、高校生が本校に進学する候補となるなど、入学者数増となるための施策を講じる。

③ 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	(4) 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	(4) 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 (2) 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 (1)

① 課題

これまでは学科会議などで自己評価に近い“反省・改善”は繰り返してきたが、今回のような形式は初めてのため、これまでの実施改善や結果公開はしていなかった

② 今後の改善方策

毎年実施し、本校 HP に改善の履歴と向上経緯、評価委員からのお声を掲載していきたい

③ 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	(4) 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	(4) 3 2 1
・地域に対する公開講座。教育訓練（公共職業訓練等を含む）受託等を積極的に実施しているか	(4) 3 2 1

① 課題

できる限り要望に応えようと限られた教員のなかで授業の割り振りに苦心した

② 今後の改善方策

高等学校や映像関連団体への講演や出張授業をさらに増やし、社会貢献と校名周知の両立を目指していきたい

③ 特記事項

今年度は普段のオープンキャンパスに加え、より広く参加できるワークショップも開催し、社会・地域の方々の参加機会を多く設定した